

# オープンソースの諸問題

---

於:OSSAJ オープンソースビジネスセミナー  
2005年5月30日(月)

風穴 江(かざあな こう)  
TechStyle編集長、コラムニスト  
[Q@windhole.net](mailto:Q@windhole.net)

# TechStyle——自己紹介に代えて



- オープンソースビジネスのクオリティマガジン
- 「Open Source Business Review」を提供中

# Contents

---

- 「オープンソース」のおさらい
  - オープンソースの現状
  - オープンソースに関する懸念
  - ビジネスモデル
  - 品質
  - 知的財産権
-

# オープンソース

---

- 「オープンソース」は造語  
→ 1998年2月に作られた比較的新しい言葉
  - 最初から明確な定義がある  
→ 「the Open Source Definition」
  - ソフトウェアを不特定多数で共同開発する、という手法  
→ 「伽藍とバザール」によって着目
  - オープンソースライセンス  
→ 共同開発のためのライセンス
-

# オープンソースの対義語

---

- 対義語は「クローズドソース」ではない！  
→ 「Open」と「Close」の安易な想像……
  - あえて言うなら対義語は「プロプライエタリ」  
→ プロプライエタリ = `proprietary` (独占の)
  - 不特定多数による開発 = 誰の専有物でもない  
→ 緩やかな「共有」状態  
→ だから対義語は「独占」状態
-

# オープンソースの定義(主なもの)

---

- 再配布が自由に行える
- ソースコードが提供される
- 派生ソフトウェアの作成および配布を自由に行える

こうすることで、不特定多数による共同開発がスムーズに行える、というライセンス

---

# オープンソースの特徴

---

1. 誰も独占できない  
→ 著作権が放棄されているわけでないが、利用や再配布などが明確に許諾されている
  2. 自由に利用できるのもので、テストやプロトタイプ作成をしやすい
  3. ソースコードレベルで改良、改造できる
  4. 共同開発なので、自分1人ですべてを抱え込まなくても良い
-

# オープンソースのメリット(1)

---

## □ エンドユーザーにとって

- 誰も独占できないので、ベンダロックされない
- サポートサービスを自由に選択できる
- 自由に利用できるなので、試用しやすい

## □ Sierにとって

- 誰も独占できないので、ベンダロックされない
  - 技術力さえあれば、自由に改造、改良できる
  - 自由に利用できるの、試用しやすい
-



# オープンソースのメリット(2)

---

## □ メーカーにとって

- すべてを自分で抱え込まなくても良いので、開発コストを削減できる(自分の力が及ばないところは、誰かの支援を期待することができる)
  - 実現可能性は、自分の技術力にだけ依存する(技術さえあれば何でもできる)
  - 既存のソフトウェアを再利用したり、参考にしたりすることで、開発に役立てることができる
-

# オープンソースの現状

---

- オープンソースへの関心は高まってきている
  - ビジネスの局面でも、もはや「知らない」では済まされない
  - しかし、「オープンソース」ということだけで大成功した企業はない
  - オープンソースには、まだまだ課題が存在
-

# オープンソースに関する懸念

---

## □ ビジネスモデル

- 「サービスで儲ける」と言われても……

## □ 品質

- 「無保証」?
- セキュリティ:「見せる」ことへの不安

## □ 知的財産権

- 侵害可能性についての不安
  - ライセンスの有効性は?
-

# ビジネスモデル

---

- 王道 (royal road) は、まだ見つかっていない
  - ライセンスビジネスを行えないわけではないが、ライセンスを「独占」することによって利益を最大化することはできない
  - 所詮、ビジネスは、他ではできない「何か」が勝負
  - オープンソースは「打ち出の小槌」や「魔法のランプ」ではない
  - しかし、「ハサミ」として**使いよう**はある
-

# 品質

---

- オープンソースは「無保証」が基本？
  - 「無保証」で提供されているが、「保証してはいけない」というわけではない
  - 開発する人と、保証する人が、別々であり得るのがオープンソースの特徴
  - ソースコードを「見せる」ことは、必ずしもセキュリティ上の問題とはならない
  - ソースコードを検証できないソフトウェアのセキュリティを信頼することの方が難しい
-

# 知的財産権

---

- オープンソースは「無法地帯」？
  - ソースコードが明らかにされるので、オープンソースは「ごまかし」がきかない
  - むしろ、オープンソース開発では権利関係にナーバスになるという面もある
  - 特許には「文殊の知恵」で対抗
  - ライセンスが多種多様なのは仕方がない
-